

阿蘭陀外療集

四

⌘

○13-2

F
才-12

全
九
季
冊架函

阿蘭陀外齋集卷之四

494.2
OY-2
4

No. 3212
119 013-~

一、河内... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、... 五十一、... 五十二、... 五十三、... 五十四、... 五十五、... 五十六、... 五十七、... 五十八、... 五十九、... 六十、... 六十一、... 六十二、... 六十三、... 六十四、... 六十五、... 六十六、... 六十七、... 六十八、... 六十九、... 七十、... 七十一、... 七十二、... 七十三、... 七十四、... 七十五、... 七十六、... 七十七、... 七十八、... 七十九、... 八十、... 八十一、... 八十二、... 八十三、... 八十四、... 八十五、... 八十六、... 八十七、... 八十八、... 八十九、... 九十、... 九十一、... 九十二、... 九十三、... 九十四、... 九十五、... 九十六、... 九十七、... 九十八、... 九十九、... 一百、...



醫士川文庫
 3047

富吉川家藏本

向蘭陀メ

スト

口

ア

ツ

ア

ル

ニ

秘

癱出所不定何之所二七出後口癱ハ肉多故二腫物

大ニ成父力ハ故大事也療治品々有是初發ハ少出然

凡惡寒發熱有テ頭痛ハ心患腫物ハ夕夕二色赤腫

也又黒色ニ成毛有赤ハ實症黒ハ虚症也

實症之ニハ先下ヲ用下テ使氣無是ハ血ヲ取事

腰ハリ上之腫物ハ尺澤ヲ取ハ腰ヲ下之

腫物ハ足之甲又太指之根又夕夕筋又脊毛血

ヲ取ハ是テ驗氣無是取ハ實症之天ハ赤身多所ス

テハニスイフニ迴ニウキ其中心ハ三リコニヲ塗

付其上ハム以テキニフステ其上ヲ本綿ニテ卷

置也膿ハ取針ヲ口ヲ閉膿ヲ出ハ肉ヲ取ハ能ク

土肉去テ赤肉ニテキスハフニホツリニ塗テ其上

アルマンス方書

寛文九年

一西曆一六六一年

十三年

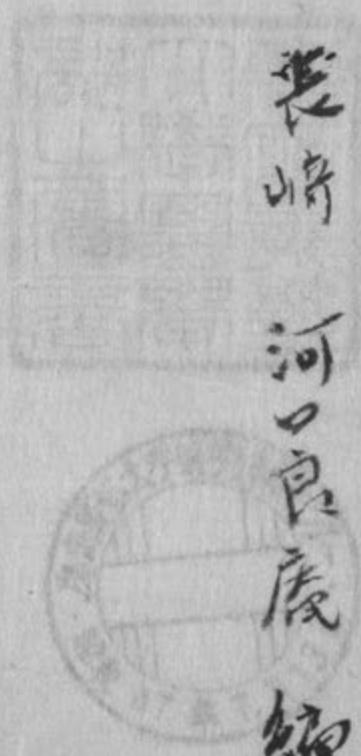
カスハルニヤルニ

東朝後

河内良辰編

富吉川家藏本

富吉川家藏本



一 用抄身ニニ用胸ニ血ニモリ夕心ヲ能下ス夕ト
 二 膿成テモ下心金瘡ニソリ出夕心眩ハテシメ
 三 テイ十之油ヲ温テ疵ニ付心煩腦瘧ニモ元レメ
 四 テイ十之温テ塗付心夕不ハ心甘モ之油良魚
 五 是時ハラニリ玉テレメニキ食十使也内茶六テリ
 六 ヤアリ八九分至モ月フ心不出夕心モ同前也
 七 鉄炮玉扱ヤウ先ハ心ニリマニヘレニヒ夕尺心加
 八 テ玉之入夕心口ニホツリウ浸付心黒身除其後テ
 九 ヘンス不フ音打也隻手臭時ハイ欠ヒヤニ
 一〇 アホスト口ウ心ニフ付ヲ五六月モ付心至有瘡
 一一 サク入り入テ玉扱ト女道具ヲ玉ヲ扱ニ取テ右之茶
 一二 ヲ付心若寸クサモ不届玉扱ニ取テハ切破テ
 一三 取出ス下有金瘡筋リ心トキハラウテレ
 一四 ノニテイ十或エニリマ心ハ心サムリニ包之内下也

温テ付テ良玉扱心迹心指茶ハラウ夕リヨソク
 一 一イ子ウ夕リヨテレメニテイ十ウ夕リヨイヒリ
 二 三ウ夕リヨ口場亦右四色合温テ心切宛入心右之
 三 茶ハ筋ニ骨ニ魚指合愈肉上夕ウハテヤハ心ニ付
 四 愈イヤ之不下時口ウ夕スヲリ上夕リ夕リ夕
 五 手^{ホウシヤ}足拓搗瘡療治之事野手肉油薬玉子油薬没茶油
 六 委肉控油泰又メニト油委丹心油満燙右合温テ先
 七 ヲモキ草小葵葉煎テ洗テ右之茶ヲ付日其上ウモ
 八 メニ三卷也^{ハク}瘡風之茶之ニト口^ウアト口夕ニ千ヤ
 九 アマニ春信在燒^{五分}丹心石炭麻水再入一取置其
 一〇 水則アク也右四卷合十一不洗テ塗付心
 一一 疝氣^クキニ腫夕心ハムスウキニ夕不折テ良
 一二 淋病療治大黃^ウウク^リカ^キキ^リ交ホウニヤ春右

水交明化委丹化委ホウシヤ交ヒソウ石委等痔香
 委フカノ腦委于右各粉而花之水手和而百二度宛
 付テ良一同下之方太黄委肉握委明化服破委尸に
 ハイ委サフウシ右刻衣工包振出三朝腹二月但
 月水魚是女人十ウハ七月一度宛用月水沢山有女
 六二日一度三月良ヤ介下之茶方玉子赤野菊
 之油右ニ色合燒夕心所ヲ湯ヲ熱而漬テ批テ右之
 茶ヲ又リ付包置也下血之療治之事大黃委肉桂
 委此ニ味ウ粉而水テ朝一度ニ用ウアテキス千イ
 十委口子イウ是マ子イウ撮右水揉入三煎用ツ
 子ニ雞之ヒヨコニ米少入煎肉豆蔻粉テ少入用良
 腹ニウシユ口シヨシチテ置也寢サ一ニウ々リ王
 ソクシイ子三瀉程千ニ夕ト云酒而月千ニ夕魚時
 ハ玉子ニテモ用麻角燒リヘシ粉委宛每朝玉子ニ

テ用午足ウ洗手テサスリテ吉腹ウハ湯テモ手ニ
 テモサハハ委惡ニ是テ驗氣魚是眩ハ前之下ニウ
 思五十ヨリ以上ハ血ヲ不取十歳ヨリ肉モ不取血
 シ取ハ大黃ニウケリカシキリテ加テ委用食六黒
 米之食ニリ一ニノスヲ加テ用ハ鼻血止ヤウ之事
 血多出時ハ湯テ足ヲ温首ヲス介フケテス
 ハス心也其後醋ヲカケテ良胸ニ鉛ヲ伸テ置水
 トストホ合ニ合ケリイニテ足ヨリ血ヲ取テ
 吉口傳此人ニ正カリテ不見也疝氣療治之委疝
 氣痛出前ニフウント心介ニヨク木綿ニ浸キシ玉
 シ上ニツリ上テ置也其後玉子之油ヲ温テ金玉ニ
 スリ付正ニフウストメリ口ケトテ切テ吉
 虫齒之茶之事下香之油ヲ虫齒ニ付比又ニ夕ウ
 カウケ委サフウニニ必右能ツキ吏ハ夕丸痛齒ニ指
 介夜寢サ一ニ一粒合合テ吉頭痛ス心眩ハス

テキスラ粉木綿ニシテ子リ拭テ火之上ヲ温ヒ
 イニヤ元吉正ニフウスリマテキスラ也
 咳血止ヤリ之事吐血之眩ハ木綿ヲ水ニ浸乳之
 夕リ肩之又夕リヲ冷ス血大多ニ心眩ハ夕リイ
 二水ヲ入其人ヲ冷大黃交ヲ火リリ春右二
 色粉大水ニ入其汁ヲ少宛用吐血ハ高ヨリ落リ又
 ハ強腹ヲ立テモ又ハ筋之張テモ其病證ヲ見合ハ
 キ也心痔王リ血走時白塩硝少水ニ入テ其水ヲ
 木綿之ホツリニ浸心二指其迴ニモ水ヲ以冷ス此
 葉ハ能血ヲ止ル愈ユトモ夕イ千之出痔ハ大
 葉ニ交三ロモ子イヤ右ニ色ヲ水ニ用テ下ス此
 下ニ痔痛也其眩ヲ夕リヨレリヨウ口ニテ温テ痔
 二塗ツクル人油キスギロナニス良喉瘧之葉方
 大黃粉墨右茶碗ニ湯ヲ入此茶ヲ入リ干交用其後
 フラガニ夕トコワアト口ニテウリイニテ外ニハム

ムスウキニフスラチテ吉車前水魚眩ハ醋ト水ト
 ホ分合ウカイウニテ良舌之下ニ青筋ニツ有ラ突
 切血ヲ取一月水留夕ル眩ハヨモキラ煎其汁ヲ朝
 毎小茶碗一盃宛用テ良血氣強女ヲハ足之筋ヨリ
 血ヲ取毎月水之留其月限ヲロニ口ハテラ夕リ
 日スリシイ子ヲ三滴程ヲモモ文煎湯ニテ毎朝用
 良其出ニラリリロニキリ蘆薈葉上夕明破春サ
 フウニ右右持メ蜜丸●夜寢升ニ三粒宛用但湯
 醋之類禁物也腰湯示蓬ノ草小葵右三色煮腰
 湯スヘシ長血ニハ朝夕水所吞之ヲ横腹ヲ常ニ
 水ニテ冷大良車前水ヲ冷メ吞之便毒之茶蘆薈葉大
 千々ト夕キ心ヲ冷メ吞之便毒之茶蘆薈葉大
 黄交ヲ夕リリニキリ交朋破葉ヘレモ夕ア心春
 右各粉メ蜜ヲ煉丸●毎夜五粒宛水ヲ用ア下
 リスキ本三粒宛用不破前中葉ハムスウキニフス

ラチテ散スハ是言七日若不散敗ハ夕ウ
 スコナリ夕ウリヨ付テ散ハ是言也不散敗ハ
 テヤキ口ニコムコク生^{コシクアリイヌ}蟻ハシリコ^{コシクアリイヌ}押定口ウ閉久
 不用能膿外ハ敗生^{コシクアリイヌ}蟻ハシリコ^{コシクアリイヌ}押定口ウ閉久
 キ所ニ付其上幸右之膏茶打也其親口不閉敗ハ口
 ツフトウリ又コ付テ良口閉テ膿能出列ハ敗ハ
 アホスト口ウ付テ良口閉テ膿能出列ハ敗ハ
 テヤハ心^{コシクアリイヌ}敗テ良右之病症ハ生魚之類又ハ大食
 悪シ何モ破リハ敗ハ下シ討テ愈也右之病症吞茶
 ハウハトテ今十交リテイウ交右ニ色刻水森入ニ
 言ウ二煎毎日用^{コシクアリイヌ}正痺瘡洗茶之方ア々夕ウ
 ニ夕トゴ孫ア^{コシクアリイヌ}ハイ交カニ夕ウハツ
 下ル夕ウハ^{コシクアリイヌ}ア^{コシクアリイヌ}ハ^{コシクアリイヌ}ニ交右立味ウ車前水テ
 リ立漫テ洗人膏茶ハ惡^{コシクアリイヌ}初腫テ痛ハムスウキ
 フス良下^{コシクアリイヌ}ハ^{コシクアリイヌ}毎日用良右之便毒下^{コシクアリイヌ}吉^{コシクアリイヌ}午馬喰

付夕ハ敗之茶之事喰付夕ハ疵ヨリ血多出夕ハ敗
 ハテヘシイフシテ吉血不出敗ハ^{コシクアリイヌ}ウ^{コシクアリイヌ}イ夕
 言突切血ヲ出不^{コシクアリイヌ}血不出敗ハ^{コシクアリイヌ}ア^{コシクアリイヌ}ハ^{コシクアリイヌ}ス^{コシクアリイヌ}テ
 テ吉喰深キ眼ハ^{コシクアリイヌ}血長血久不^{コシクアリイヌ}留^{コシクアリイヌ}六^{コシクアリイヌ}株^{コシクアリイヌ}目^{コシクアリイヌ}粉^{コシクアリイヌ}メ^{コシクアリイヌ}酒^{コシクアリイヌ}水
 タル口付テ良^{コシクアリイヌ}白^{コシクアリイヌ}血^{コシクアリイヌ}長^{コシクアリイヌ}血^{コシクアリイヌ}久^{コシクアリイヌ}不^{コシクアリイヌ}留^{コシクアリイヌ}六^{コシクアリイヌ}株^{コシクアリイヌ}目^{コシクアリイヌ}粉^{コシクアリイヌ}メ^{コシクアリイヌ}酒^{コシクアリイヌ}水
 亦分合一^{コシクアリイヌ}七日^{コシクアリイヌ}月^{コシクアリイヌ}ハ^{コシクアリイヌ}大^{コシクアリイヌ}形^{コシクアリイヌ}其^{コシクアリイヌ}肉^{コシクアリイヌ}ニ^{コシクアリイヌ}テ^{コシクアリイヌ}快^{コシクアリイヌ}氣^{コシクアリイヌ}ス^{コシクアリイヌ}ル^{コシクアリイヌ}也^{コシクアリイヌ}

松脂一行二猪油交入一沸テコシ查去ホルトリル之油
交入煉合其右摺葉刻テ百目入テ毎月々二乾十日
七日程経後破コシニ又ル也

リ口ウウリ子キレイ交アルヘイ碎交スヘイシヤ
ウホウ子キレイ交アルヘイ碎交スヘイシヤ
ステヤ口ウムアハアテス右立色葡萄酒ニ漬十

八丸分湯水煉合テリヤアリノ加減ニ合一度ニ
魚肝油魚肝油ハ葉ラシホリ汁ヲ取ホルトコル
ホルトコルハ葉ラシホリ汁ヲ取ホルトコル

ニヤ膏茶ヲ入煉合心同銘アルニス自作
カシ粉茶ヲ入煉合心同銘アルニス自作
白檀粉メ仔白蠟火テカス羊角ソウト口ニス之實之汁

見合ニ八ミ魚肝油ハ葉ラシホリ汁ヲ取ホルトコル
之油亦右煉合便能ハ何クニテモ腫色付タル也
引也打身ニテ腫タルハ前之方ヲ付心金瘡ニ毛前

之テヘシス不フニラ付心切目之兩脇ニ付心ハ患
ラ去腐深不入切口ニテキス不フニラ付其上ニテ
ヘシス不フニラ付心切目之兩脇ニ付心ハ患

二番之テヘシス不フニラ付心切目之兩脇ニ付心ハ患
木綿浸シ洗テ右色々テヘシス不フニラ付心切目之兩脇ニ付心ハ患

同銘
カヒス名ク一行ヘウツテウス尊々養右蠟油煎十力
三ニ色々粉茶ヲ入煉合心同銘アルニス自作

出痛強手強強テ夕心能下地ニウ々リコカモメ
リウ塗其上ニ此膏茶付心能手足折夕三ハ口ウ

軟合野正ニフウアスハヨシヨシニ
 へ以キ行アハ口介氷テ解養サフカニ魚取紅花
 交メウへ氷ニ解交ラタリヨア各心ト養大ニス之油
 羊行セイウ見合右煉合便
 アモヤリニ交ヘ夕夕ニ交サガハ
 又ニ交ラリハア又ニ交サステキス交久ルヒニテ
 イ子^{ラミロワモノリニテスリトワシ}ニ交右アウキ焼酒テ煉トリシテコ口
 ウクスラリニタリ不交ヘフキ罨アハホウシ罨
 ケイル口ス交右煉便能ハ筋骨痛ニ良身折メ
 ル所クシキタル所ニ吉膏ヲ縫或ハ脚氣筋氣中風
 ニテ手足不叶ニ良冷ヨリ生ル病症ニ何ニモ良腫
 物ニ毛引上ラテニ良井ク正トアホスト
 口ウルニ氷之内油羊行テレメニテイ十た又メウ

へ酸ニテ解交アハハイ酸ニテ解交マイウ交録青十交
 丹蓉交ラタリヨリモノリ罨ラタリヨイヒリコニ
 罨右蠟油テレメニテイ十煎トクニ録青丹凡之抹
 入其後アハ口イメウヘラ醋ニテ研トクニ入交合
 便^{乳香}同銘
 ウイ^{ラミロワモノリニテスリトワシ}口^{ラミロワモノリニテスリトワシ}ニ交アハハイ酸ニテ解交マイウ交録青十交
 タリヨニ交カハハア又ニ交右五色^{ホルトクシ}ニテ研解温
 金炒糟交粉ノ右入研合テラタリヨレ^{ホルトクシ}スホニス行
 タルヒンテイ十交アハハイ酸ニテ解交マイウ交録青十交
 三色ハホトナリル油テ煎解テ煎之六味ラ一入泡
 之正一煎煎也冷録青交アリスト口^{ホルトクシ}キイヤ交粉メ
 合色也思ハ酸ヲ入^{ホルトクシ}其色思ハ録青之抹ラ
 入ヨ不善也能ハ諸腫物口開ハメイ千ヤ塗指合
 膿血ヲ吮取腐ヲ去思肉ヲ切腫物色思キラ直ニ善
 肉ヲ此也是子モ思肉難去取ハ下レヒ夕アルラ

白く口ケ変りエニクハス変りモ大り盛撮
 アルホルヒヨム変右四色未ケ林心口ス厚父心
 ニテイ十変右二色物解右四色粉茶入煉合其右
 又下心之肉油委水銀膏右二色古入研合ヨク
 三ツル取右之膏之肉入其右ルニ変コレラ今手
 手引伸能クマ子之正ニフウスト之リケンシテ置
 之能ハ無名腫初發付レハキル也若千ウス三
 三良右古腫物吉疵之欠ナリテ也便毒初發付
 下用之下痒瘡足ハ半金腫外ニ付テ良蓮良頭
 痛ニママタル人ニ瘡氣有ハ手之指肘肩膝足首杯
 二伸付テ下用テ良

呂イモニハ子ケレ千着マイモニリイニ着山灯心
 之皮着ラルトト口ハニ行右四色粉大水床程
 入煎查ラ去但四五日漬置テ煎ウケリヨロモメリ

胃ラ々リヨレリヨウロシ胃カニスヘツテ
 罌右三色之油ラ前之煮汁ト一ツニ入火ラ静シテ
 煎肉子リ煙立止マテ煎其右アモニヤ
 カハシ変ヘタリヨシ変此三色醋ニテ解シ右下
 入火之上ニスエテタルヒンテイ十変ヘエツテ
 ス行コウクスラリ正シタリス変右三色ヲ入テ
 煉堅也能ハ癰疽瘡瘍而之魚右毒腫付テ塊ラ和
 ケ散若不散物ハ引上膿ヲオス腫物ヲラシ痛
 止癰疽沉メ引上テ膿多也散上之妙ヤ
 ク之膏也

正ニフウストリウカテイヤ
 アルホルシ系夕心心ニテイ十着ケイル口ス半行マ
 ステキス接夕ハユ青汁着右煉合使ハ能ハ金疮腫
 物愈膏茶良

ソクノト口ニ灸ヲタリヨサト口ニ灸ヘエツ
テ口ス安右三色煎水氣魚時ソロイニヤ
ト口ウト膏右三色粉煉物良燒トモ吉
愈也灸瘡其外古物難治物良燒トモ吉

エニワウス下メリロウト

ホロウリスメロウト灸ホロウリスリモメリ於ホ

ウリウリイニ灸タル也耶葵根アトトニイ

アトイリヤス灸ニイヘレス灸アトトニイ

モニ灸タルニ灸ニイヘレス灸アトトニイ

右煉ヤ口傳能ハ寒性之腫物ヲ散ス痛ヲ止腫ラ

消何灼ニテモ冷テ痛所付テ良筋氣脚氣中風或ハ

風毒ホニ付テ良

ケイル口ス一行ハルス一行ウイロリ灸ウタリヨテレ

メニ胃ラタリヨカモメリ胃ラタリヨウリイ子

胃右煉ヤ口傳能ハ切疵一也燒酒ニテ和付テ

良疼痛ヲ能止此膏ニテハ何ヤウノ療治モ成莫

也

マイモ口ウヤ小子唇程也木モニイニ灸也

モニケロ置以灸ウ有口久灸ノケヘ灸法タリ

リモメリ灸也イラウタリヨレリヨウ口ニ灸テ

メニシテイ十番サ又右煉合使口傳

コ口ハ灸麻仁灸小葵灸ホルトカル之油養ウイ口

ク十灸メウヘ灸也イウチア此ホウシ一行肉桂養灸血

碯灸アマンヤク灸鹿土灸右煉合氣腫瘰癧ヲ散ス

其外色々ニ良性ハ温也

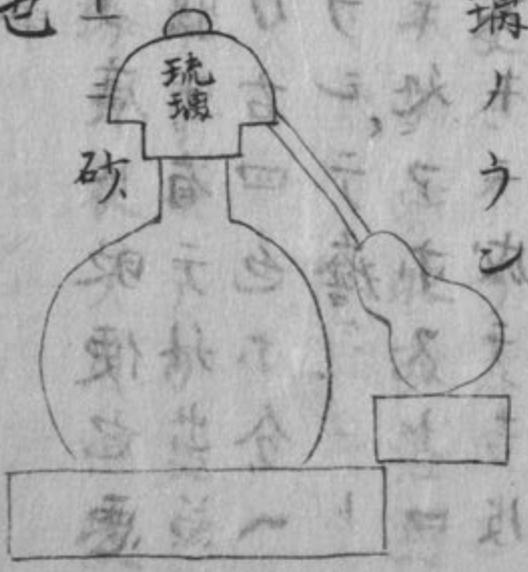
口ツフ外ウテリ

橙灰アタニタレテ其外國木ニテ長石灰右ニ色ウ

明化交工ニマウ交水銀交信石交
 右持大水銀トスリ合リ子之火
 器カ土ホウロクク入ノキ之
 不出アウニフクシテ灰火
 二テ焼也能時ホリ子取能
 へレ三ヒ夕ア此同前
 右如此高ナア口ハ大指入程膏之外ラ土テ塗壱之
 腸リニ之上下ニ火ヲ置口ヨリ煙立取上之火除テ
 下之火強焼也后ホリテ取出又鼻ニ木綿麻ヒ夕
 二押込口ニ之煙不入ヤラニスへシ煙毒也凡ソ六
 取程煎正味ハ壱之上ニ付有查ハ底ニ留后ニハ壱
 ラ折口リテ取也悪クスレハアマチスル也
 ス夕ヒアト心ニホ水銀斤右ニ色合ヒイト口之



トクリニ入真ヒイト口ヲ鍋之中ニ又工破ニテ埋
 ミ下ニ火ヲ置テ折完焼テシ夕イニ火強焼ハ堅也
 其后ヒイト口ヲ折テ取出粉ヲ鍋入イリテ其
 上ニアウキ焼酒ヲ取完リテイル也力イリテ其
 マウ右ソヒリニ正ト同前也但下ニ鍋ヲ居へシ
 如ハス夕ルコウアト口煎也テストレノル
 此如鍋之上ニ平瓦ヲ置キ其上
 う置其土ニ如此力マヌ工止也
 信石粉ヲ存取五未程入り力申交四五日置上澄之水



ラ拾遺ヲ右之ニキニテ煎取也
云又アミクハ可止又夕ア
能之事

癰疽疔瘡其外一項之毒腫廢り
切腐ラ去之破モスルソ唐瘡
腹中有テ升出蓋夕ル

吐出也蓮之類何テモ完深キ
ハニ加テハ千ヤニ指也完太
成テ吉皮ヲ切

ケイルコム喉於口ハ此ガ交
力子ハ力交檢皮ニテ厚

實ラ計テ用ヘシ癰疽瘡毒内
有故大使結ス此テ用諸之
腫用良痛モ止惡症輕ク成也
風毒腫之初癸

ニモ用之 喉瘡下シ之方

口ハルハ交アニイシ交リ子
ハウ交テ上置テ翌朝布

右粉ノ水天目一盃入テ一夜
紙灰ノ上置テ翌朝布

右熱湯ニ用金瘡胸ニ命ヲ
キクハ交テキクハ交テ

右テメ合蜜ニテ丸ヲ子イ
カ粉大衣大月但使毒口

アロシヤ外大黃ニテ煉諸瘡
吉

